

KYT

危険予測トレーニング 第62回 上りカーブを通過しようとする時（四輪車編）

あなたは上りカーブを通過しようとしています。
安全に走行するには、どのようなことを予測する必要がありますか？



交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は四輪車のドライバーに、上りカーブを通過しようとする時の危険について考えてもらうためのKYTです。

活用方法

1. 少人数のグループをつくります。
2. 「交通場面のイラスト」を見せながら、意見を出し合います。
3. その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すれば良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト（カラー・A4版）」は下記SJホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード（無料）できます。

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業（株）安全運転普及本部

TEL：03（5412）1736 E-mail:sj-mail@spirit.honda.co.jp

© 本田技研工業（株）

? SJ クイズ 四輪車編

Q1

年齢層別で、アクセルとブレーキの踏み間違い事故の全交通事故に占める割合が、最も高い層は次のうちどれでしょう？（平成24～28年の合計）

- ① 24歳以下 ② 65～74歳 ③ 75歳以上

Q2

平成28年の75歳以上の高齢者ドライバーが第1当事者※となった交通死亡事故件数を車種別にみると、平成19年と比較して約2.3倍増加した車種は次のうちどれでしょう？

- ① 軽乗用車 ② 軽貨物車 ③ 普通乗用車

Q3

75歳以上の高齢者ドライバーが第1当事者※となった交通死亡事故件数を車種別・事故類型別にみると、軽乗用車で最も多い事故類型は次のうちどれでしょう？

- ① 出会い頭衝突 ② 正面衝突 ③ 工作物衝突

※第1当事者＝交通事故の当事者のうち過失が最も重い者、又は過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。



「解答」は7面下、「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

Honda 春のセーフティキャンペーン実施中！ 声かけでワンポイントアドバイス

Hondaでは4月1日～5月31日の期間、「2018年Honda春のセーフティキャンペーン」を実施しています。期間中は、Honda及びHonda関連企業などHondaグループ全体で活動し、無事故・無違反の継続活動の実施、自ら率先した交通安全を実践。二輪・四輪販売会社では、お客様に安全運転を意識していただくため、全席シートベルトの着用やバイクツーリングに向けたアドバイスのお声かけをはじめ、冊子の配布や映像の放映など啓発ツールを多数用意しています。

また、ホームページからはHondaの最新の安全技術の情報、安全運転のためのアドバイスを紹介した冊子「Think Safety」や、家庭で交通安全について子どもと一緒に考えるきっかけとするための「きけんよそくトレーニングぬりえ」などがダウンロードできます。



四輪販売会社で配布している安全情報誌「Think Safety」。以下のホームページからダウンロードすることも可能。
http://www.honda.co.jp/safetyinfo/topics/safety_campaign/

●KYTぬりえダウンロード（PDF）

ダウンロードした「きけんよそくトレーニングぬりえ」に色をぬったら、下記宛にお送りください。ぬりえは3種類あり、1枚から応募できます。ぬりえ1枚につき、ASIMOの交通安全ステッカー1枚をプレゼント！

【応募締切】

2018年6月10日（日）

【送付先】

本田技研工業株式会社 安全運転普及本部
交通安全ぬりえキャンペーン事務局 行
〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1



※送付いただいたぬりえは、交通安全ステッカーと一緒にご返送いたします。
※お申込みいただきましたお客様の個人情報は、発送業務以外の利用は致しません。